

溶融亜鉛アルミニウム合金めっき  
タナカ-AZ

田中亚鉛鍍金株式会社

〒555-0012 大阪市西淀川区御幣島5-1-1  
TEL 06-6472-1234 FAX 06-6473-2354  
URL http://z-mekki.com/

[問い合わせ先] 営業部 (TEL.06-6472-1234, FAX.06-6473-2354)、品質管理課 (TEL.06-6742-1237, FAX 06-6472-1336)  
[拠点] 尼崎工場 (〒661-0965 尼崎市次屋2-1-57, TEL.06-6499-4614, FAX.06-6498-4694)



沿岸部の落石防止製品の支柱材の採用例



高架橋の落橋防止装置の採用例

概要

「タナカ-AZ」は亜鉛にアルミニウムおよびマグネシウムを添加することで塩害(海岸付近や凍結防止剤の散布地域等)に対する耐食性が向上した新しい亜鉛めっきである。溶融亜鉛めっきとしていた従来の防錆方法を「タナカ-AZ」にするだけで耐塩害性が向上する。塩害が想定される港湾設備、防災製品や電力、鉄道架線、道路部材や橋梁部材、照明柱等幅広い分野の構造物への適応が有効である。

・ JISH8643 溶融亜鉛アルミニウム合金めっき

さらに2019年11月20日に溶融亜鉛アルミニウム合金めっきのJISが制定され (JISH8643)、2020年11月4日にJISマークの認証を取得した。

・ JIS認証番号 : JQ 0520002

特長

より過酷な環境に強い、極めて優れた耐食性と耐摩耗性を実現。大きな腐食原因である海塩粒子や、凍結防止剤等の塩害を受ける製品に適した、独自の亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっきである。塩水噴霧10,000時間以上でも赤錆の発生がない。めっき皮膜は硬く、耐摩耗性に優れている。また、密着性にも優れている。

皮膜構造

「タナカ-AZ」のめっき皮膜は表層と中間層に大別される。溶融亜鉛めっきの中間層は鉄-亜鉛の合金であるが、本製品は、アルミニウムが多く含まれた鉄-アルミニウム合金の中間層になっている。

用途

土木関係：グレーチング、検査路、高欄、連結金具、フェンス、落石防止製品、落橋防止装置

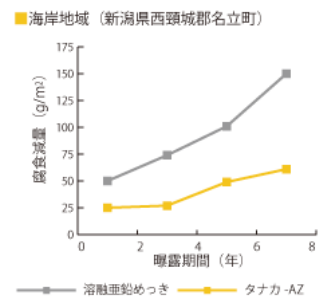
建築関係：鉄骨構造物、建屋材、設備架台

電力・通信関係：鉄塔、腕金、ケーブルラック

環境・衛生関係：下水処理場建屋材

〈大気暴露における耐食性〉

海岸地域のように腐食環境の厳しい地域では、タナカ-AZの腐食減量は溶融亜鉛めっきの約1/2~1/3とその差が顕著に現れている。



塩水噴霧試験における耐食性(塩水噴霧試験結果)

溶融亜鉛めっき (550g/m <sup>2</sup> )						タナカ-AZ (450g/m <sup>2</sup> )						
塩水噴霧時間	0 hr	500 hr	1000 hr	2000 hr	3000 hr	塩水噴霧時間	0 hr	500 hr	1000 hr	2000 hr	5000 hr	10000 hr
塩水噴霧試験における腐食減量 (g/m <sup>2</sup> )	-	219.8	278.2	-	-	塩水噴霧試験における腐食減量 (g/m <sup>2</sup> )	-	43	47.1	56.1	59.7	74.8
表面写真						表面写真						

溶融亜鉛めっきでは約1,000時間で赤錆が発生したが、タナカ-AZは10,000時間経過時でも赤錆の発生はなく優れた耐食性を有する。